

# 私たちの生活と アフリカとのつながりを考える

## ワークショップのねらいと目的

- 私たちの身の回りにあるモノについて、日本から遠く離れたアフリカとのつながりを見つけ、私たちの生活がアフリカをはじめとする世界中の国々や地域から支えられていることに気付かせる。
- アフリカをはじめとする世界中にある課題が私たちの生活と密接にかかわっており、自分たちの消費行動や生活様式により大きな影響を与えることに気付かせる。
- 私たちの暮らしが、アフリカをはじめとする、国際社会に大きな影響を与えることを意識し、今後、自分たちがどのような社会を築きたいのかを考えさせ、そのためにどのように行動するのかを考えるきっかけにさせる。

## ワークショップの概要・進め方

### 使用例

- ① 11 ページの 18 品目の中から、アフリカと関係のあるものを選ぶ。
- ② 白紙部分には、自分の知っている（もしくは調べた）アフリカと関係のあるモノをイラスト付きで記入する。
- ③ ①、②で選んだものが、アフリカとどのようにつながっているのかを考え、書き込む。
- ④ 12 ページの表を見て、私たちの身近なものがアフリカとつながっていることを確認する。
- ⑤ コラムを読んで感じたこと、考えたことを班内で話し合い、気づいたことをまとめて、全体に発表する。

### 指導のポイント・視点

- 事前に関連情報を生徒に調べさせ、集めさせておくと、意見を出しやすい。
- 原材料に何が使われているかを考えさせ、産地を調べさせる。（例えば、歯の詰め物などによく使われるパラジウム、電池などに使われるマンガンなどのレアメタルについてもアフリカ産は多い。他にイカなどもアフリカから輸入している）
- アフリカは資源が豊富にあり、私たちの生活に欠かせない産品が多い。
- アフリカが抱える課題には、私たちの消費生活などが影響している。

## コラム レアメタルが軍事資金に

携帯電話やパソコン、ゲーム機などの電子機器は私たちに便利で快適な生活をもたらしてくれます。携帯電話やパソコン、ゲーム機にはレアメタル（希少金属）と呼ばれる金属が使われており、そのレアメタルを巡って世界規模でどういった問題が生まれているのか、皆さんは知っていますか？

レアメタルを巡って紛争が起こっている地域があります。コンゴ民主共和国（旧ザイール共和国）では、レアメタルの一つ、タンタルが採掘されています。その埋蔵量は豊富で、世界一とも言われています。そのレアメタルを巡って、国や軍、武装勢力などによって紛争が起きています。そして、現在でもコンゴや隣国の国々では多くの武装勢力による活動が続けられています。その多くは、コンゴでのレアメタルの

違法な採掘活動から活動資金を得ています。携帯電話やパソコンなどの、レアメタルを使う電子機器への世界的な需要の高まりに伴い、レアメタルを巡っての戦いは後を絶ちません。レアメタルの需要が紛争を長引かせているのです。

私たちが便利で豊かな生活を求める一方で、その私たちの生活がアフリカでの紛争のきっかけとなっているのです。各国の政府や企業、メーカーだけではなく、私たち消費者もこういった問題の責任を意識しなければいけないといえるでしょう。まずは世界各地で何が起きているのかを知り、考えることから始めましょう。



## やってみよう!

下にある18品目は、私たち日本人におなじみのものばかりです。この中から、アフリカとつながりがあるものを選びましょう。空白の部分には、わたしたちの身近にあるもので、アフリカとつながりがあるものを考えて書きましょう。

たこ焼き 	携帯電話 	蚊取り線香 	チョコレート (カカオ) 
ゴマ 	電気 	イセエビ 	ダイヤモンド 
スシ (マグロ) 	バラの花 	ガソリン 	バニラアイス 
桃のジャム 	化粧品 	うなぎ 	ゲーム機 
プラチナの指輪 	コーヒー 		



## 考えてみよう!

上で選んだものが、どのようにアフリカとつながっているのかを考えて、自分の予想を書きましょう。それから、班ごとに意見を出し合い、考えをまとめましょう。



# つながりを見てみよう

11ページにあったものは、アフリカとどのようなつながりがあるのか、下の表で確認してみましょう。つながりを確認しながら、地図帳で関連のある国の場所も探してみましょう。

<p><b>たこ焼き</b></p> <p>日本で消費されるタコの約60%が北部アフリカに位置するモーリタニアやモロッコから輸入されています。</p>	<p><b>携帯電話</b></p> <p>携帯電話などの精密機器にはレアメタルがたくさん用いられています。レアメタルの一つコバルトはコンゴ民主共和国やザンビアなどで採掘されています。</p>	<p><b>蚊取り線香</b></p> <p>蚊取り線香に使われている除虫菊はケニアやタンザニアなどの東アフリカから輸入されています。</p>	<p><b>チョコレート(カカオ)</b></p> <p>チョコレートの原料であるカカオの約76%は西アフリカに位置するガーナから輸入されており、他にもコートジボワール、ナイジェリアなどから輸入されています。</p>
<p><b>ゴマ</b></p> <p>ゴマはアフリカ原産と言われており、多くがナイジェリアやブルキナファソ、タンザニアなどのアフリカの国々から日本に輸入されています。</p>	<p><b>電気</b></p> <p>日本は天然ガスをナイジェリアやエジプトから輸入しており、それらは火力発電の燃料として使われています。</p>	<p><b>イセエビ</b></p> <p>南アフリカ共和国（輸入額の10.4%）やナミビア（輸入額の9.6%）からイセエビを輸入しています。</p>	<p><b>ダイヤモンド</b></p> <p>アフリカの南部はダイヤモンドの一大産出地であり、ボツワナ、コンゴ民主共和国、南アフリカ共和国などが有名です。</p>
<p><b>スシ(マグロ)</b></p> <p>寿司や刺身で使われているクロマグロは、北アフリカ（モロッコやアルジェリア、チュニジア）からも輸入されています。</p>	<p><b>バラの花</b></p> <p>日本はケニアやエチオピアからバラを輸入しています。ケニア産のバラが輸入バラの約20%を占めています。</p>	<p><b>ガソリン</b></p> <p>日本は中東だけでなく、スーダンやチャドなどアフリカからも石油を輸入しています。</p>	<p><b>バニラアイス</b></p> <p>バニラの原料となるバニラビーンズの90%以上がマダガスカルから輸入されています。他にウガンダやセーシェルなどからも輸入されています。</p>
<p><b>桃のジャム</b></p> <p>南アフリカ共和国から桃（輸入額の19.5%）やあんず（輸入額の10.7%）などの果実加工品を輸入しています。他にエジプトなどからもジャムを輸入しています。</p>	<p><b>化粧品</b></p> <p>化粧品には粘り気を出すためにアラビアゴムが使われています。アラビアゴムの産地は、スーダン、チャド、マリ、セネガルなどが挙げられます。</p>	<p><b>うなぎ</b></p> <p>近年、日本近海ではウナギの稚魚の不漁が続いており、2012年にマダガスカルからアフリカ産ウナギの稚魚の輸入が開始されています。</p>	<p><b>ゲーム機</b></p> <p>ゲーム機などにはタンタルというレアメタルが使われています。アフリカではエチオピア、ルワンダ、モザンビーク、コンゴ民主共和国などがタンタルの産出地です。</p>
<p><b>プラチナの指輪</b></p> <p>貴金属などによく使われているプラチナの約76%を南アフリカから輸入しています。他に産出国としてジンバブエなどが挙げられます。</p>	<p><b>コーヒー</b></p> <p>アフリカのコーヒー生産国としては、タンザニアやエチオピア、ケニアが知られており、日本ではモカやキリマンジャロといった名前で売られています。</p>		

出典：JICA「日本・途上国 相互依存度調査」  
財務省「貿易統計」  
外務省パンフレット「日本とアフリカ」



# 振り返ってみよう!

アフリカにある日本のものを調べてみよう。